

令和3年度普及指導活動の外部評価会開催要領

令和4年2月14日

1 目的

福岡県普及指導計画策定要領に基づき、経営技術支援課長は、幅広い視点から客観的に普及指導活動の評価し、より高い成果を創出する普及指導活動とするため、普及指導活動の方向性や成果、体制等について、外部評価者による外部評価を実施する。

2 日時

令和4年2月21日（月）13:30～17:00

3 場所

博多サンヒルズホテル 星雲の間（福岡市博多区吉塚本町13-55）

※ オンライン併催

4 評価対象

（1）普及活動体制

各普及指導センターの配置・係体制、普及指導員数、普及指導員資質向上の取組（研修体系）等

（2）普及課題

今年度の対象普及指導センターは、北九州普及指導センター、南筑後普及指導センター、京築普及指導センターの3センターとし、各普及指導センターの全普及課題が対象。

※3年間で全普及指導センターが対象となるよう実施。

○ 発表課題

No.	課題名	センター名	実施期間
1	北九州地域の新規就農者支援体制整備による担い手の確保・育成・定着	北九州普及指導センター	R1～R3
2	次世代を担う経営体の育成によるカンキツ産地の維持	南筑後普及指導センター	R1～R3
3	新規園芸農家の確保と労力支援による産地維持拡大	京築普及指導センター	R1～R3

5 評価方法

（1）外部評価者は事前に送付する評価対象の資料について、確認しておく。

（2）経営技術支援課は、各普及指導センターの配置・係体制、普及指導員数、普及指導員資質向上の取組（研修体系）等について、報告する。

（3）対象普及指導センターは、普及課題一覧表及びスライドを活用し、センター管内の概要及び発表課題（普及活動の課題、目標、活動内容、残された課題等）を20分で報告する。報告後、外部評価者との意見交換を20分行う。（計40分）

※ なお、発表者は原則として課題の総括者とする。

（4）外部評価者は、報告された内容に対して、意見や助言などを行う。

6 評価結果のとりまとめと活用

経営技術支援課は、外部評価会の内容および評価結果についてとりまとめ、普及指導センター及び外部評価者へ配布するとともに、福岡県HPで公表する。普及指導センターは、評価結果を今後の普及指導活動に反映させる。

7 参集範囲

(1) 外部評価者（令和3年度）

	氏名	職名	参加方法
先進的な 農業者	實本 太	福岡県指導農業士会会長	W e b (八女普及指導センター)
若手農業者	石丸 貴浩	福岡県青年農業士会会長	会場
女性農業者	進 まどか	福岡県女性農村アドバイザー会長	会場
農業関係団体	諫山 謙介	J A福岡中央会 JA グループ福岡 担い手・営農サポートセンター長	会場
消費者	谷口 たかし	エフコープ生活協同組合 商品企画部長	W e b
学識経験者	磯田 宏	九州大学大学院農学研究院	W e b
マスコミ	小林 直	毎日新聞西部本社 編集局次長兼報道部長	W e b
民間企業	田口 靖之	日本政策金融公庫福岡支店 農林水産事業融資課長	会場

(2) 県機関

各普及指導センター、経営技術支援課

※ 出席人数は、対象普及指導センターは3名以内（説明者、補助者を含む）、それ以外の普及指導センターは2名内とする。

※ 参加方法は、対象普及指導センターは会場参加、それ以外の普及指導センターはW e b参加とする。